

第218回:指導者とは

まだまだ吾が人生は to be continued だと思っているが、華甲も過ぎたことだし、人生のひとつの区切りとして「個人的ベスト10」でも作ってみようかと考えている。小説ベスト10、洋画(邦画)ベスト10、女優ベスト10等々だ。小説は「モンテクリスト伯」、洋画は「カサブランカ」、邦画は「シコふんじゃった」、女優は内緒。続いて、ノンフィクション部門を独断と偏見で選べば、リチャード・ニクソンの「指導者とは」は外せないだろう。若い頃に熟読すれば軽〜く頭取くらいにはなれたのに、チクショ〜！ 毀誉褒貶の激しいニクソン元大統領だが、本書は彼が国際政治の表舞台で活躍した50年代(副大統領)から70年代(大統領)にかけて、会談や交渉の機会があった東西の指導者たちへの回想という形を借りて、彼らのパワーの源泉を分析した名著だ。1986年に刊行されて以来、長らく絶版状態が続いてきたが、嬉しいことに最近「文春学藝ライブラリー」から文庫本として再刊行された。文春と云えば、むかし西武の清原選手が取材に来た文春記者の名刺を見ながら「【週刊ブンハル】が俺に何の用だ!？」と声を荒らげたと云う噂があるが、そんなことを云いかねない若者が筆者の周辺にも多数居る気配がするので解説すると、これ文藝春秋社が「文春文庫」とは別に、新企画で出版を開始したばかりの学術系文庫であり、刊行作品は多くないが、福田恒存「保守とは何か」、内藤湖南「支那論」といったシブい名著が並んでいる。

「指導者とは」が面白いのは、ニクソンの分析による偉大な指導者たちの共通点にある。現代史の巨人と評価されるチャーチル、ド・ゴール、毛沢東たちだが、彼らは人生の頂点を極める以前の若いころに致命的とも云える大きな挫折を経験している。この点はケネディに敗れ、加州知事選挙でも敗れたニクソンも同様だ。結果的に彼らの雌伏期間は大きな飛躍の準備期間となったが、彼らはこの時期に優れた戦略書や哲学書を残している。またチャーチルもド・ゴールも演説の達人として有名だが、二人に共通するのは先ず格調高い文章で原稿を書き、それを必死になって暗記し、本番では即興スピーチのふりをしてきたことだ。その手品のトリックをチャーチルは隠し、ド・ゴールは種明かししたところだけが異なる。ろくに日本語も書けないくせに、スピーチだけは一流と云う人物はこの世にいない。スピーチが上手そうに見えても、たちどころに「お里が知れる」のは三流だ。政治家もコメディアンも一流どころは原稿や振付を必死になって覚える。

チャーチルはノーベル賞の授賞者だが、平和賞ではなく、「第二次大戦回顧録」によってノーベル文学賞を受賞した。毛沢東も短編だが寸鉄人を刺す「矛盾論」、「実践論」、「遊撃戦論」等の作品を数多く残している。筆者は共産主義者も共産党も嫌いだが、毛沢東が著作のなかで説く方法論は鋭い。社会で様々な問題が発生する原因は諸矛盾にあるが、人々が解決を迫られる問題の背景には更に大きな矛盾が隠れている。毛沢東はそれを「主要矛盾」と呼び、人々が頭を悩ませている問題は、実はその「主要矛盾」から発生した「従属矛盾」であり、諸問題を解決するためには、その背後に潜む「主要矛盾」を捉えないと解決はできないと云う。毛沢東が国民党と日本軍に対し粘り強く、ある時は逃げ、ある時は戦い、ある時は攻撃した原点がここにある。「遊撃戦論」は孫子の兵法に匹敵する戦術書だ。中曽根康弘元首相も戦後に政治家を目指し、日本の国家戦略に思いをめぐらせているとき、毛沢東の「遊撃戦論」を内務省の図書館から借りて読んだと

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

聞く。チャーチルや毛沢東に比べ、ド・ゴールの作品は日本ではあまり知られてないが、彼は歴史にも文学にも通じた当代一級の文化人であった。今年初にノーベル財団が、1963年のノーベル文学賞候補者のなかに三島由紀夫や川端康成と並んで、ド・ゴール大統領(当時)も含まれていたことを明らかにしている。

歴史とはまことに奇妙なもので、1934年ド・ゴール大佐(当時)は「職業軍の建設を！(不知火書房)」の中で、近代戦の新しい理論を展開している。「嘗てのような整然たる大会戦は、内燃機関の発明と云う技術革命によって、時代遅れになってしまった。『われわれの運命は機械が決定する』と、ド・ゴールは明快である」。ところが、この予言はフランスでは不評で、軍上層部は無視するか、危険思想と見做して警戒し、彼は地方の部隊に左遷されてしまう。だから本書はフランスで1500部も売れなかったが、ドイツの参謀本部が200部も買った。この本に啓発されたハインツ・グデーリアンは、1937年に軍事理論書「Achtung Panzer(戦車に注意せよ)」を著し、その2年後に自ら装甲軍団を率いてポーランド回廊、そしてフランスに侵攻する。ちっぽけだが機動力に優れた小型戦車部隊を先頭にして、その後ろにトラックや兵員輸送車が続き、上空からはユンカース87急降下爆撃機が支援する、これはド・ゴールの主張した「未来の軍隊」そのものである。おまけにドイツ軍は彼が予言したとおり、マジノラインを迂回し、アルデンヌの森を一気に駆け抜け、あっという間に連合軍をダンケルクに追い詰める。ここでドイツ総司令部が戦車軍団に攻撃中止と云うバカな命令など下されなければ、第二次大戦は終わり、ヨーロッパはヒトラーの手に落ち、米国は孤立していただろう。皮肉なことにド・ゴールは自分の編み出した戦術でドイツの侵攻を許し、英国に逃亡することになった。因みに戦車が森のなかを突破できるのか、予てより不思議に思っていたが、こないだパリでブーローニュやヴァンセンヌの森を見て、日本と森の概念が違うのに気付いた。「アルデンヌの森」ではなく、アルデンヌ高原かアルデンヌ丘陵と訳すべきだろう。

残念ながら、文庫本の「指導者とは」は、30年前の単行本と少し異なり、上記の大国の指導者(マッカーサー、アデナウアー、フルシチョフ)たちに絞られており、東洋人で登場するのは吉田茂、毛沢東、周恩来の三人だけだ。全訳ではマグサイサイ(フィリピン)、スカルノ(インドネシア)、リークアンユー(シンガポール)も登場している。ニクソンが最も評価するアジア人は周恩来のようだ。吉田茂と毛沢東は不倶戴天の敵同士だが、共に韜晦の術に長けており、弁護士出身で実務やロジックを重視するニクソンは周恩来との波長が合ったようだ。このブンハルの本、筆者の座右の書として自宅用と会社用の2冊を求めたが、文庫本のくせに一冊1793円とは、ちょっぴり腹が立つ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年5月2日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040